

三原市酪農振興会

六月十七日 みわTMRセンター

飼料イネ使用のTMRに関心

三原市酪農振興会(会長 新舎和久)は昨年より計画していた「みわTMRセンター」の視察研修会を開催し、会員十名が参加した。

現地では藏崎哲治課長補佐(事業推進課)による概要説明を受け、作業工程を見学しながらセンター内を視察した。特に圧縮梱包機「ラップペールマスタ」による梱包からラッピングの工程には感動の様子であった。

三原市の久井町や大和町では、集落営農法人が飼料イネの生産に取り組まれていることから、その関心は大きく、「使用しているネットの価格と強度は?」、「物が良いので使ってみたい」、「給与時にエサが固くてほぐすのが大変であったが今は楽にできているか」等の質問も多く、大変意義深い研修となった。

その後、三次市地産地消認定の店「ほてい」にて昼食をとり、湧永庭園のバラの花を観賞しながら、園内を散策し有意義な一日を終えた。



なるほど～

甲奴郡酪農組合・神石地域酪農生産振興協議会

七月二日 出雲大社三良坂分院

「愛牛供養」と

「家族の健康」を祈願



甲奴郡酪農組合(組合長 伊達 薫)は、恒例となつた神石地域酪農生産振興協議会(会長 河上康則)と合同で畜魂祭を行い、三次市三良坂町の出雲

大社分院に総勢二十六名が集まった。

今年も牛の供養に加えて、自分や家族の健康祈願も含めた御祓いを受け、三次市内の焼き肉屋「ふるさと」で親睦会を行った。親睦会の進行は、溝辺清春組合員が務め、はじめに両協議会を代表し、伊達組合長は「近年、牛の祈願の効果が表れてきたようだが、飼い主の方に傷病が多い様なので今年も人間の御祓いも行った。皆さん今年も健康で元気に酪農を続けていってほしい」と参加者の健康を気遣う挨拶をされた。

J A 広島市農協芸北酪農部会

七月一日 J A 広島市農協芸北支店

総会「新会長に上村秀一氏」

J A 広島市芸北酪農部会(部会長 斉藤正和)は、総会を開催した。これには、会員や行政・指導機関等十五名の出席があった。

上程した「平成二十五年度決算」並びに「平成二十六年年度予算案」の議案を承認し、役員改選議案では新たに部会長に上村秀一氏、副部長に吉川栄樹氏、会計に斉藤正和氏を選任した。上村会長は、会員数が少なくなつたが、団結して頑張ろうと就任の挨拶で締めくくられた。



続いて、山陽乳業(株)の砂内修治専務から「長く牛への関わりはあつたが、このような畜魂祭は初めての参加で良い経験をさせて頂き感謝します。山陽乳業(株)もやっと配当が出来るようになりましたが、これからも一層の努力をして参りますので、今後も配当を続けられるよう応援を宜しくお願いします」と乾杯の発声を行い、家族的な雰囲気の中で会場は盛り上がった。閉会の挨拶で、鈴木道弘専務(広酪)は「とにかく乳を搾って下さい。本当に乳が足りません」と求めた。

広酪西部ミルク会

七月七日 みわTMRセンター
三次ワイナリー

みわTMR飼料製造工程を視察
三次ワイナリーで意見交換会

広酪西部ミルク会(会長 西原美和)は、広酪の「みわTMRセンター」とTMR利用農家の中田牧場を視察した。これには、会員他十四名の参加があった。

センターでは大畠達夫係長(事業推進課)からの概要説明を受け、原料の計量やミキサー投入から梱包に至る製造工程に会員は関心を寄せていた。

その後、中田牧場を視察し、後継者の和成さんによる給餌機への投入方法や給与実演を興味深そうに見学された。視察後、三次ワイナリーで懇親会を行い、牧



場の管理状況や繁殖等の問題点について意見交換を行った。

東部管内女性部・庄原みるくの会

七月九日 出雲大社

地域の輪を広げる
「合同日帰り旅行」「出雲大社」に参拝

東部管内女性部は、庄原みるくの会との合同日帰り旅行を行い、二十四名が参加した。東部事業所管内では三年前より五つの地域と一緒に日帰り旅行をしていたが、今回は庄原みるくの会から誘いを受け、以前にも増して賑やかで楽しい旅行となった。

台風八号を心配しながらも、広範囲な地域からの参集となることから集合場所や時間帯等の調整に苦労もあったが、会員の皆さんの理解と協力の下に無事に出発することが出来た。

まずは十時の腹ごしらえに藤井行子さんが朝早くから作って頂いた「かしわ餅」を美味しく頂きながら松江道を進み、交流も深まる中でバスは出雲大社へ到着。境内は地元ガイドさんの説明を聞きながら、二礼四拍一礼で幸せを祈った後、五十年に一度の屋根葺き替えを完了した本堂を見学し、食事会に入った。

食事会では、世羅町の岡田典子さんの乾杯発声で始まり、各自簡単な自己紹介をして交流を深めた。

両手にお土産を買い込んだ後、お別れの際に庄原を代表して才木知恵美さんから御礼の言葉が述べられ、東部地域を代表しては松本美喜枝さんが再会を約束し、交流の広がりを喜びながら予定の行程を無事終えることのできた有意義な旅行となった。



神石地域酪農生産振興協議会

七月十日 湯つ蔵さんわ

新会長に「山本薫氏」就任

神石地域酪農生産振興協議会(会長 河上康則)は、平成二十五年総会を開催し会員五名、関係機関十一名が出席した。

入江英雄副会長は挨拶で「TPPによって今後の情勢が不透明だが、酪農家としては昨年廃業したものの、この協議会のために会員として頑張りたい」との抱負とともに挨拶された。その後、鈴木道弘代表理事専務(広酪)より、酪農情勢等を含めた挨拶があった。

議事は「平成二十五年事業報告及び収支決算」、「平成二十六年事業計画・予算案」を上げし、何れも承認された。役員改選議案では新会長に山本薫氏を選任し、「良質な生乳生産を頑張るためにもご指導をお願いしたい。」との就任挨拶があった。

畜産事務所からは暑熱対策やBSE検査対象にかかる改正、口蹄疫、全国和牛能力共進会に向けたET移植事業の情報提供があった。懇親会では関係機関も含めた様々な話題が飛び交い、和気藹々の雰囲気の中で交流を深められた。



世羅郡酪農振興協議会

七月十一日 タイニー

辛いからこそ見えるものがある 世羅の酪農がいつまでも続くよう頑張ろう

世羅郡酪農振興協議会(会長 内海利彦)は平成二十五年
度総会を開催した。

会長挨拶では、「原田脩さんがこの春に病気で亡くなら
れ、現在は奥様が酪農経営を頑張っておられるが、生前
の原田さんにはもっと世羅の酪農を引っ張って欲しいと欲
しかった。次につなげる私達がしっかりして世羅の酪農
がいつまでも続くよう頑張っていかなければと思う。辛
いからこそ見えることも沢山あるので頑張りたい」と
故人を偲ぶと共に、これからの酪農への前向きな姿勢
を述べられた。岩竹重城組合長(広酪)からは、「乳量
が出ないと組合運営も大変だ。乳価値上げの運動も中
販連で協議し決定した。TMRセンサーを成功させる為
には、安い餌を作るのが第一目標であり、努力目標であ
る。そして乳を搾って頂くために育成牛の確保も大事で
ある。今日の懇談の中で皆さんの意見を聞きながら取り
入れて行きたい」と挨拶があった。

総会議事は全て承認され、この場で広酪の平成二十五
年度優良検定組合員表彰の被表彰者
の溝上敬一氏に対して、岩竹組合長
から表彰状が贈呈された。

会員からは、「中期計画の中には
組合員に負担がかかることもある
が、必ず取り組まないと組合が運営
できなくなる。乳代の無い組合員も
あると聞くが、やり方次第で儲かる
ので、十年後の酪農を見据えて、経
営の勉強をすべきである」との建設
的な意見があった。

総会後は各関係機関との懇談の場
となり、なごやかに親睦を深めた。



西部楽酪会

七月十一日 広酪西部楽酪会

「後継者」玉浦さん仲間入り 一緒に活発的な活動を!!

西部楽酪会(会長 砂
子拓也)は、玉浦転さ
んの「入会歓迎会」を開
催し、これには、会員
の酪農家や獣医師、家
畜商の十三名の参加が
あった。砂子会長は「当
会は、酪農後継者が互
いに様々な相談を行う
会であり、今後も積極
的に参加して情報共有
してほしい」と歓迎し
た。これに対して、玉
浦さんは「二年前に車
禍事故を起こして両親
には大変心配をかけた。これから
牧場経営に積極的に関わり、両親
を安心させたい」と抱負を語った。
会員は焼肉で親睦を深め、北海道
への先進地視察の提案もあり、会
話を弾ませ懇親を深めた。



福山地方酪農協議会

七月十六日 近藤仕出し店

全酪連講師「輸入粗飼料研修」

福山地方酪農協議会(会長 山本芳紀)は、研修会と平成
二十五年年度総会を開催し、会員七名、関係機関八名が出席した。
研修会では、岩崎正孝氏(全酪連購買畜産課)を講師に招き、
昨年同様に「最近の輸入粗飼料情勢」について、米国西海岸の
早魃、インペリアルバレーの水問題、米乳価、UAE・中
国の動向、北米コンテナ船情勢の五項目について説明を受け
た。講師は「異常な程の早魃により貯水量が減少し、粗飼料の
作付け面積が減少し、加えてUAEや中国での需要高に伴い
飼料価格は高騰しており、今後の動向に注視する必要がある」
と注意を呼びかけた。

総会の開会にあたり山本会長からは「多方面からの支援があ
るからこそ、会員の活力につながっている。今後とも宜しく
お願いしたい」と挨拶された。鈴木道弘専務(広酪)からは「組
合員数は百五十戸を割っており、なんとか減らないように乳
価値上げや、生産費を下げるように頑張りたい」と伝え、子
会社・山陽乳業(株)の小役丸原料課長からは「生乳が足りない状
況であり、しっかりと搾って頂きたい。」と要請された。

議案は「平成二十五年
度事業報告及び収支決算報告」
並びに「平成二十六年度事
業計画・予算」、「規約の一
部変更」を上程され承認し
た。「役員改選」は現行役員
体制の留任を決定した。そ
の他、会費の徴収回数の変
更、牛舎消毒費を予備費か
ら支出する事を決定した。
懇親会では関係機関も含め
和気藹々と会話も弾み楽し
いひとときを過ごされた。



三原市酪農振興会

七月十五日 久井就業構造改善センター

粘り強い「乳価交渉」と「自給飼料」の増産を

三原市酪農振興会(会長 新舎和久)は平成二十五年度総会を開催した。新舎会長は出席した関係機関への御礼に加え、「梅雨の蒸し暑さは牛に堪えるが、乳量も足りないとのことなので今後の夏の暑さが気になる。また、粘り強い乳価交渉が必要であると同時に飼料も海外に頼らず自家飼料を増やしコストを下げれば自給飼料は強い。広酪も生産者が百五十戸を割った。組合員が協力して振興会を盛り上げて行きたい」と意欲的な挨拶を述べられた。

来賓の祝辞では、鈴木道弘専務(広酪)が「広酪総会でも承認頂いたが、厳しい決算に終わり配当も出来ないことで申し訳ない。」と述べ、酪農情勢の報告を行った。続いて、三原市農林水産課長からの祝辞を受け、玉川功士副会長の議事進行の下、四つの議案を上程し、全ての議事を承認した。役員改選議案では会長、副会長、会計は留任とした。

総会終了後は、出席された三原市を始め山陽乳業(株)、東部畜産事務所、家畜診療所、NOSA I 東部世羅支所等の関係機関との談話と共に昼食会を行った。



広島市酪農振興協議会・砂谷酪農部会

七月十五日 広島市農林水産振興センター

二団体初の合同研修と親睦交流

広島市酪農振興協議会(会長 渡辺和裕)と砂谷酪農部会(部長 植田明義)は、合同で湯口大祐氏(東亜薬品工業)を講師に招き「飼養管理全般」の研修会を開催した。この研修会は広島市酪農振興協議会が砂谷酪農部会へ呼びかけにより実現したもので、関係団体を含め十六名が参加した。講演では「仔牛は生後三ヶ月迄の管理が牛の一生を決める大切な時期。乳房炎対策は、乾乳後乳頭口が完全に閉じる二〜三週間と、泌乳開始に向けて乳頭口が開いてくる分娩前二週間での罹患が多く、牛床の管理を怠らないよう注意が必要」と強調された。研修会終了後、初めての顔合わせもあり、



経営規模等を交えた自己紹介が行われ、こども村のスーパーカー導入時の話題や後継者の悩み等の意見交換を行い、年内には二回目の合同研修会を計画され閉会した。

広島県立

農業技術大学校

学生募集



学生募集

平成27年度

	受付期間	試験日
推薦	平成26年 9月17日(水)~10月 9日(木)	平成26年10月23日(木)
一般(前期)	平成26年11月18日(火)~12月 8日(月)	平成26年12月19日(金)
一般(後期)	平成27年 2月 2日(月)~ 2月25日(水)	平成27年 3月 4日(水)
社会人特別	平成26年10月 1日(水)~12月 8日(月)	平成26年12月19日(金)

本校は2年制の専修学校です。

広島県立農業技術大学校
☎ 0824-72-0094 FAX 0824-72-6749

〒727-0003 広島県庄原市是松町 55-1
✉ ngdkyoumu@pref.hiroshima.lg.jp
ホームページ ▶▶ 広島農大 検索

